

第203回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時：2007年5月24日（木） 13時～17時35分

会場：[東京理科大学薬学部校舎](#) 薬学部1444教室（14号館）[アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話：04-7121-1501、交通：東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります（徒歩7-8分）。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題：第4回液クロ学園「医薬品等の分析におけるHPLCの活用」

開催趣旨：医薬品等の分析において、HPLCは欠くことのできない分析ツールとなっています。またその使用目的も、有効成分の確認、定量から不純物の確認まで多岐にわたります。正確な結果を出すためには、正常にHPLCが稼動すること以外にも、ちょっとしたコツが役立つ時があります。本例会では医薬品、医薬部外品等でのHPLC分析に役立つコツについて、具体例、応用例などご紹介します。

講演

1. 講演主題概説（13:00～13:05）
(神奈川県衛生研究所)熊坂 謙一
2. 正しい移動相の調製法（13:05～13:30）
(東京化成工業(株))井上 剛志
3. 昨今のクロマトグラファーが好むファーストチョイスカラムとは（13:30～13:55）
(日本ウォーターズ(株))池ヶ谷 智博
4. 天秤の正しい使い方～質量測定精度に及ぼす要因について（13:55～14:20）
(株)島津製作所)針谷 哲三
5. 医薬品分析における試薬・試液取扱いのポイント（14:25～14:50）
(関東化学(株))佐藤 尚之
6. 分析法バリデーションマネージャ(MVM)を用いた医薬品開発のステージ別分析法バリデーション（14:50～15:15）
(日本ウォーターズ(株))腹巻 ゆかり
7. FUMI理論を用いたHPLCの精度推定（15:30～16:05）
(東京薬科大学薬学部)小谷 明
8. 外原規2006と医薬部外品・化粧品のHPLC（16:05～16:35）
(ライオン(株))小池 茂行
9. 医薬品の規格試験におけるポイントと実際（16:35～17:05）

10. 総括:医薬品分析におけるHPLCの役割 (17:05~17:35)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円、その他:
4,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

カタログ展示

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

懇親会

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572、E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]